

Next Tourism Summit 2022

～DXの推進による観光サービスの変革と観光需要の創出事業成果報告会～

観光庁では、旅行者に対する消費機会の拡大や旅行者の消費単価の向上を目指し、これまでの態様に捉われない新たな観光コンテンツ・価値を生み出すべく、令和3年4月から「DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進による観光サービスの変革と観光需要の創出事業」を実施しております。

今年度採択した17実証事業者※が取り組んだ観光DXの実証・調査結果を報告するため、以下の通り成果報告会を開催します。

※ 実証事業の事業概要は、【別紙1】ご参照。

開催概要

【イベント名】Next Tourism Summit 2022

【開催日時】令和4年3月15日(火) 16時00分～18時30分

【開催形式】オンラインライブ配信 (YouTube)

【申込URL】<https://next-tourism-summit-2022.peatix.com/>

視聴無料、言語:日本語

上記URLにアクセスし、お申込みください。当日申込による視聴も可能です。

【プログラム】16:00～ 開会・事業全体概要説明

16:15～ キーノートセッション「先進的な観光・地域活性化とデジタルの取組」

16:45～ 実証事業実施者成果報告(6事業)

17:50～クロストークセッション「観光の未来を考える」

18:30 閉会

【登壇ゲスト】【別紙2】【別紙3】ご参照。

問合せ先

観光庁 観光地域振興部 観光資源課 新コンテンツ開発推進室 担当:山崎・若林

E-MAIL:[hqt-dx★milit.go.jp](mailto:hqt-dx@milit.go.jp) TEL:03-5253-8924(直通)

注:可能な限り、メールでのお問合せにご協力をお願いします。

また、送信の際は「★」記号を「@」記号に置き換えてください。

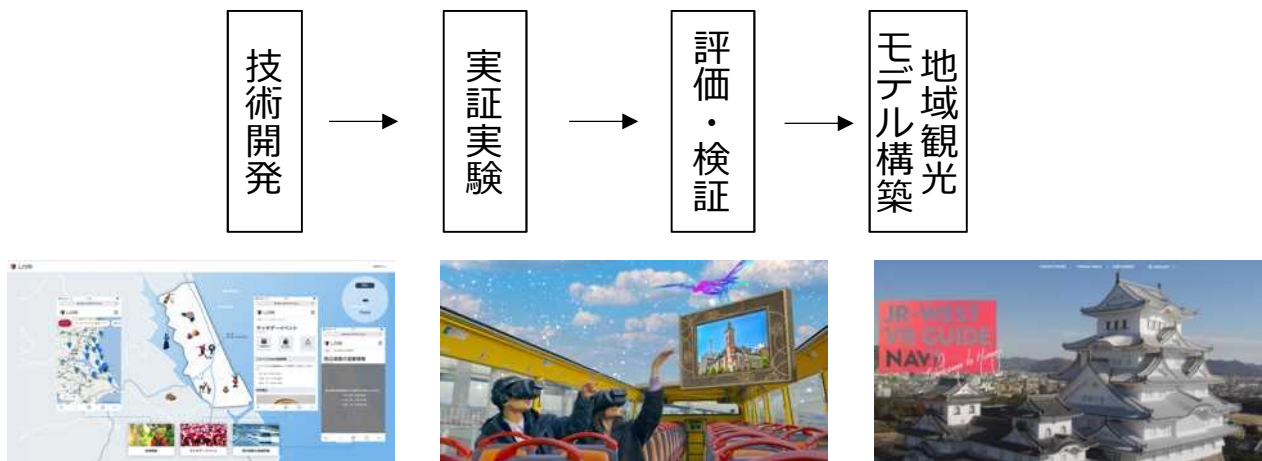
DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進による観光サービスの変革と観光需要の創出事業

【事業概要】

観光庁では、旅行者に対する消費機会の拡大や旅行者の消費単価の向上を目指し、これまでの態様に捉われない新たな観光コンテンツ・価値を生み出すべく、デジタル技術を複合的に活用しながら、観光サービスの変革と新たな観光需要の創出を推進し、DX推進による新たな地域観光モデルを構築

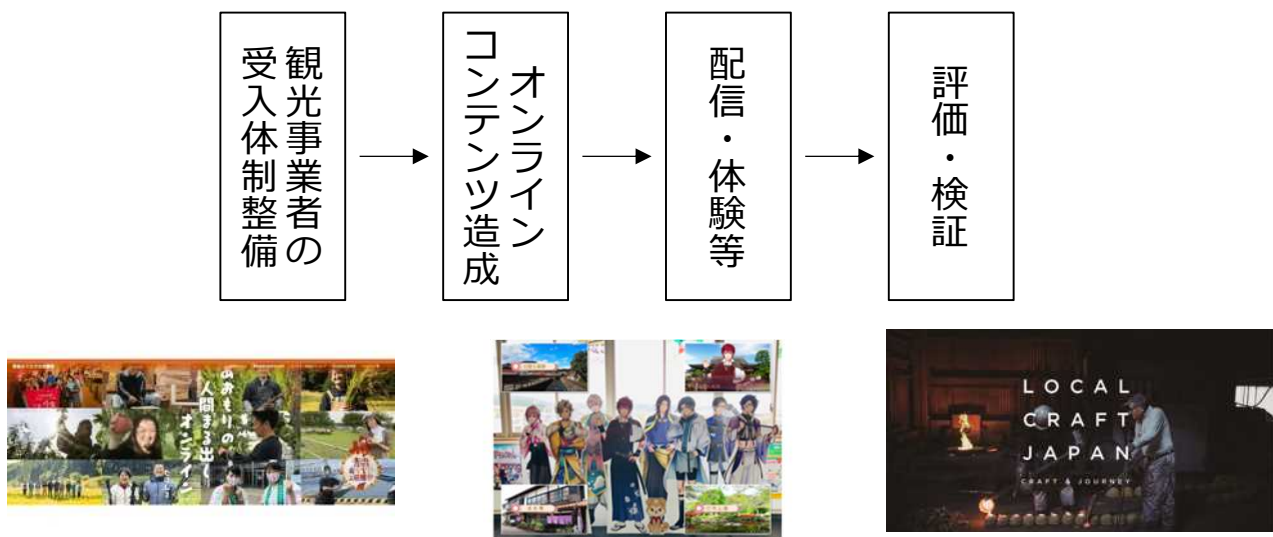
■これまでになかった観光コンテンツやエリアマネジメントを創出・実現するデジタル技術の開発事業

複数のデジタル技術の掛け合せや、デジタル技術と観光資源との掛け合せによる相乗効果を生み出す技術開発により、旅行者の体験価値向上や観光消費額増加を実現。



■来訪意欲を増進させるためのオンライン技術活用事業

コミュニケーションを取ることが可能なインタラクティブな既存のオンライン技術と、観光資源とを融合し、観光需要や消費意欲を創出



注：本事業において採択した実証事業については、観光庁ウェブサイトにて紹介しています。

https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/digital_transformation.html

成果報告会に登壇するゲスト

本成果報告会においては、幅広い見識を持つゲストをお招きし、観光や地方創生・地域活性におけるDXについて講演をいただくキーノートセッションを実施します。

① キーノートセッション：先進的な観光・地域活性化とデジタルの取組



小泉 文明(こいずみ ふみあき)氏

株式会社メルカリ 取締役President(会長)

兼 株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー代表取締役CEO

早稲田大学商学部卒業後、大和証券SMBCにてミクシィやDeNAなどのネット企業のIPOを担当。2006年よりミクシィにジョインし、取締役執行役員CFOとしてコーポレート部門全体を統轄する。2012年に退任後はいくつかのスタートアップを支援し、2013年12月株式会社メルカリに参画。2014年3月取締役就任、2017年4月取締役社長兼COO就任、2019年9月取締役President(会長)就任。2019年8月より株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー代表取締役社長兼任



結城 明姫(ゆうき あき)氏

株式会社オリィ研究所 共同創設者 COO

高校時代に流体力学の研究を行い、2006年の高校生科学技術チャレンジ(JSEC)で文部科学大臣賞、YKK特別賞をダブル受賞。アメリカで開催されるインテル国際学生科学技術フェア(ISEF)出場資格を得るが、出場を目前に結核に倒れ長期入院を経験する。翌年同大会に再出場しグランドアワード優秀賞を受賞。2011年には代表吉藤と共に参加した早稲田ものづくり大賞、学生起業家選手権、キャンパスベンチャーグランプリ等において留学先のロンドンからデモを行い、優勝。2012年、オリィ研究所を設立する。2019年「Forbes Japan 30 Under 30 サイエンス部門」、2021年「Forbes CHANGE MAKERS OF THE YEAR2021」選出。2020年には日本のSDGsアクションを推進する官民連携プロジェクト『ジャパンSDGsアクション』におけるSDGs Peopleにも選ばれる。

② クロストークセッション：観光の未来を考える



村山 慶輔(むらやま けいすけ)氏

株式会社やまごころ 代表取締役

株式会社やまごころ代表取締役。兵庫県神戸市出身。米国ウィスコンシン大学マディソン校卒。2000年にアクセントチュア株式会社戦略グループ入社。2006年に同社を退社。2007年より国内最大級のインバウンド観光情報サイト「やまごころ.jp」を運営。「インバウンドツーリズムを通じて日本を元気にする」をミッションに、内閣府観光戦略実行推進有識者会議メンバー、観光庁最先端観光コンテンツインキュベーター事業委員をはじめ、国や地域の観光政策に携わる。



工藤 祐太(くどう ゆうた)氏

アクセントチュア株式会社 ビジネスコンサルティング本部
ビジネスコンサルティンググループ プリンシパル

北海道札幌市出身。2015年9月にアクセントチュアに加入し、官公庁関連プロジェクトを中心に従事。現在は、会津若松市(福島県)ほか各地域のスマートシティプロジェクトの戦略・計画策定支援やアドバイザー、福島県浜通り地域の震災復興関連事業を主に活動を展開。2019年には、東京から会津若松市へ家族ごと生活拠点を移し、自治体・学校・地域事業者・スマートシティAiCT関連事業者と一体となり、少子超高齢化時代においても持続可能な、データ駆動型の街づくりに取組む。

事業者例(成果報告会に登壇する実証事業実施者)

◇顔認証と周遊eチケットを融合した手ぶら観光の実現(開発事業)

<https://digital-x-project-gov.note.jp/n/nfb8474ab7e80>

- 団体名 : 富士山エリア観光DX革新コンソーシアム
 登壇者 : パナソニックシステムソリューションズ ジャパン株式会社 高島真一氏 大山一朗氏
 事業概要 : 山梨県の富士五湖周辺エリアで、顔認証や周遊eチケット、そしてデータ解析を融合させることで、“手ぶら観光プラットフォーム”の開発を実施。周遊eチケットによって交通や決済の利便性を向上させることで、エリア内の回遊性を高めることに成功



◇5G・自動運転・xRが創る「どこでもテーマパーク」(開発事業)

<https://digital-x-project-gov.note.jp/n/nc829d54f0deb>

- 団体名 : コンフォートデジタルツーリズム事業化推進協議会
 登壇者 : 久留米工業大学 交通機械工学科 教授
 インテリジェント・モビリティ研究所 所長 東 大輔氏
 事業概要 : 福岡県北九州市で、エリア全体をひとつのテーマパークとして機能させる「エリアテーマパーク化手法」の開発を実施。自動運転のパーソナルモビリティとxRコンテンツを組み合わせた2つのアトラクション”デジタル恐竜パーク”と”鉄の道”、利用者の趣味嗜好に合わせたスポットを提案するアプリ”AI観光コンシェルジュ”による、新たな観光サービスを提供



AI 観光コンシェルジュ



◇オンライン技術を活用した「日本全国の美味しい体験」プラットフォーム構築による来訪意欲促進実証事業(活用事業)

<https://digital-x-project-gov.note.jp/n/n0a09d0d1af15>

- 団体名 : にっぽん旅先ぐるめプロジェクト
 登壇者 : 株式会社ぐるなび プロモーション事業部 食と観光企画部
 横田 亜樹子氏
 事業概要 : 日本全国の食の魅力による来訪意欲の促進を図るプラットフォームを構築。SNSや動画発信による食に興味関心の高い層の囲い込みや、オンラインを通じた地域固有のグルメや生産者に会う体験によるファンの育成、更には着地型体験コンテンツや産品商品の販売により、来訪意欲を促進



◇青森の夏・秋・冬の多彩な魅力を発信・交流するオンライン体験イベント事業(活用事業)

<https://digital-x-project-gov.note.jp/n/n14dd8299d7e6>

- 団体名 : 青森オンライン魅力発信協議会
 登壇者 : 青森オンライン魅力発信協議会 佐藤大介氏 村松あゆみ氏
 事業概要 : 季節ごとに表情を変える多彩な自然風景(奥入瀬渓流、十和田湖、八甲田山ほか)や、青森ねぶた祭などの祭文化、食の魅力をアピールするために、オンラインイベントを実施。合わせて産品の直接販売を行うECサイトを構築することにより、来訪意欲を促進



◇日本刀の聖地・瀬戸内市 オンライン文化振興オーナー育成プロジェクト(活用事業)

<https://digital-x-project-gov.note.jp/n/nbdfa75bff150>

- 団体名 : 瀬戸内市観光振興オーナー育成プロジェクト実行委員会
 登壇者 : 株式会社日本旅行 岡山支店 小松 由香莉氏
 事業概要 : 日本刀の聖地として知られる岡山県瀬戸内市の魅力を、VR技術を活用してオンラインで発信。学芸員による日本刀のガイドツアーや刀匠取材映像を含むガイドブック、日本刀関連文化のオンラインイベント等を通して、日本刀文化の「オーナー」育成を実施



◇高知バリアフリーアドベンチャーツアープロジェクト(活用事業)

<https://digital-x-project-gov.note.jp/n/n8a3625eb5efa>

- 団体名 : 高知県バリアフリーアドベンチャーツアーコンソーシアム
 登壇者 : 株式会社プランニングネットワーク 取締役 内藤 充彦氏
 事業概要 : バリアフリー観光を推進している高知県では、障がい者でも体験できるアドベンチャーツーリズムのプログラムを展開。分身ロボットOriHimeを活用してプログラムに参加することで、「行きたい」を「行ける」、「やりたい」を「できる」に変え、『旅をあきらめない』高知観光の実現

